

壊れていても大丈夫!! 家電をリサイクルしています。

小型家電について考えてみました!!

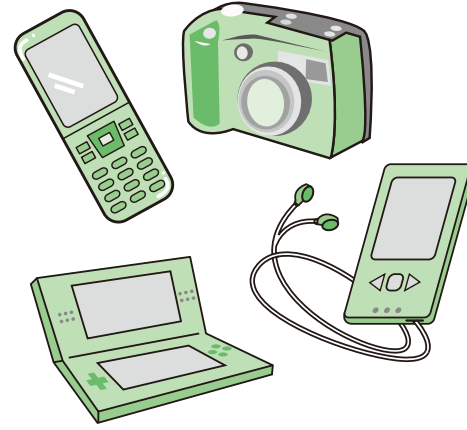
携帯電話やパソコン、電子レンジや扇風機など 毎日の生活を快適に便利にしている家電製品、使い終わったあとも役目があります。

家電製品の中には鉄・アルミ・銅・貴金属・レアメタルというような、有用な金属が含まれています。平成25年4月から『使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)』が施行され、現在は実証実験を行っています。

ここではこれらの家電製品を分解破碎し、金属の種類やプラスチックごとに選別し、金属は金属資源として再生します。

狛江市では窓口回収・イベント回収・粗大ごみからのピックアップ回収を行い、ごみの減量と、資源としてリサイクルを行っています。

平成26年度は約62トンの小型家電をリサイクルしています。



イベント回収



年に数回 日時を指定し回収します



資源化する施設へ運びます

ピックアップ回収



随時回収した粗大ごみの中から小型家電を抜き取り回収工場に運びます



窓口回収



対象品目表(15品目)のうち、縦15センチ、横30センチの投入口に入るものについては、狛江市ビン・缶リサイクルセンター内にある清掃課窓口でも、平日(土・日・祝日等を除く)午前8時30分から午後5時まで、実験回収を実施しております。



対象品目表(15品目)

1	携帯電話(PHS端末含む)
2	タブレット型情報通信端末
3	パソコン(ノート型)
4	デジタルカメラ
5	ビデオカメラ (ポータブルビデオカメラ)
6	ゲーム機(携帯型・据置型)
7	デジタル等携帯音楽プレーヤー (CD・MDプレーヤー含む)
8	携帯型映像用機器 (ポータブルDVDプレーヤー含む)
9	電子辞書
10	携帯型ラジオ
11	ポータブルカーナビ
12	ETCユニット
13	ICレコーダー
14	電卓
15	補助記憶装置 (USBメモリ・メモリーカードなど)

ごみ減量のキーワード 4R きちんと覚えて賢くつかおう!

こまえ子育てねっとキャラクター

①まずは、Refuse(リフューズ)。

必要ないものは断ろう!

ごみを減らすために一番大事なのは、いらぬものをもらわない。
★マイバックをもってレジ袋を断ろう
★包装紙は簡単に、余計な包装は断ろう



③次にReuse(リユース)。

繰り返し使おう!

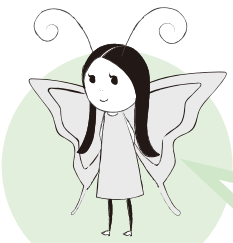
自分は使わなくても、ほかに使える人はいないかな?
★リサイクルショップを利用しよう
★リターナブルピンを使おう



②次にReduce(リデュース)。

ごみになるものを減らそう!

まずはごみにしないこと、次にごみが少ないものを選んでね。
★鉛筆やノート、ちゃんと最後まで使おう
★欲張らずに食べられる分だけにしよう
★詰め替え商品を使おう



④最後はRecycle(リサイクル)。

再利用しよう!

リサイクルは最終手段、まず上の3つができないか工夫してみよう!
★分別して出そう
★再生品を使おう

リサイクル



工場にて 破碎、分別した後に、資源問屋でとがして資源・製品として生まれ変わります



福祉作業所作業風景

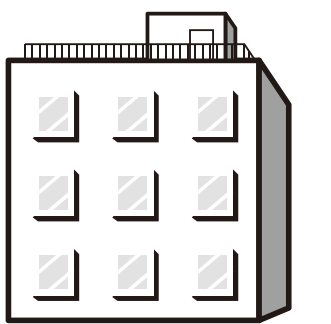


窓口やイベントで回収した携帯電話やノートパソコンは、市内の福祉作業所で品目ごとに分別されます。



福祉作業所にて解体し、資源化する施設へ運びます

資源問屋



ごみの減量の一番の方法は ごみを出さないことです

リサイクルには多額の費用とエネルギーがかかります。リサイクルできるからと今までのようにたくさん物を使い、捨てる生活を続けることは環境に負荷を与えることになります。

限りある資源を有効に使い、私たちの将来の世代により良い環境を残すためにもごみを出さない生活に切り替えていくことが大切です。

みんなで
はじめようね



狛江市環境マスコット
えこまさん